

優秀賞

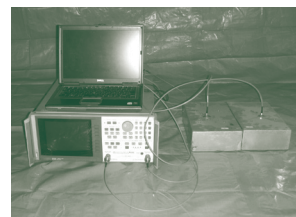
多摩ブルー賞【技術・製品部門】

株式会社 ウォールナット

非破壊路面下空洞厚測定装置

近年、河川や港湾の堤防・護岸では、異常気象による集中豪雨や台風による法面裏側の土砂流出による陥没事故が懸念されています。国土交通省は2014年度から橋梁や道路トンネルの定期点検を地方自治体に義務づけると発表しました。地下の空洞化による道路陥没が年間5,000件程度発生している現状では、暮らしに欠くことのできない最も重要なインフラである道路の維持管理に焦点が集まっています。予算の拡充にしたい委託業務の発注量は増加傾向にあり、市場も活性化しています。

そして、陥没事故を防ぐための路面下空洞調査による維持管理は定常化されています。従来、地中レーダの役割は非破壊で空洞の有無を判定することであり、空洞厚の確認は削孔に頼らざるを得ませんでした。このため、レーダ測定の段階では、陥没を引き起こす大きな厚い空洞の特定は不可能でした。当社では、複数の異なる周波数帯域の電磁波を放射し、各反射波の相違を比較することにより空洞厚を決定する方法を考案し、削孔せずに空洞厚を測定する技術を開発致し



ました。削孔不要によるインフラ設備の破損事故リスク回避、また、削孔作業スペース確保不要による工期短縮と交通渋滞緩和を実現し、総合的にコスト縮減を可能とするサービスを提供することが可能となりました。『社会生活の安全を守る』という経営理念のもと、その一助となるべく非破壊路面下空洞厚測定装置を用いて削孔の要らない効率的な計測サービスを提供していきます。

会 社 概 要

代 表 取 締 役	齋藤 豊		
本 社 所 在 地	〒190-0002 東京都立川市幸町1-19-13		
業 務 内 容	トンネルや道路、電力施設など社会インフラを対象とした調査・診断・計測サービス。 調査機器の研究開発、技術提供、機器販売		
資 本 金	1,000万円	沿 革	創業 平成5年
主な販売・受注先	東京都、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所、他官公庁、 東京電力(株)、建設コンサルタント会社及びゼネコン各社		
従 業 員 数	正社員:28名(パート・アルバイト:2名) 平均年齢:31歳		

連 絡 先

担 当 者	調査部 成澤 行雄		
U R L	http://www.walnut.co.jp		
E - m a i l	sale@walnut.co.jp		
T E L	042-537-3838	F A X	042-537-3820